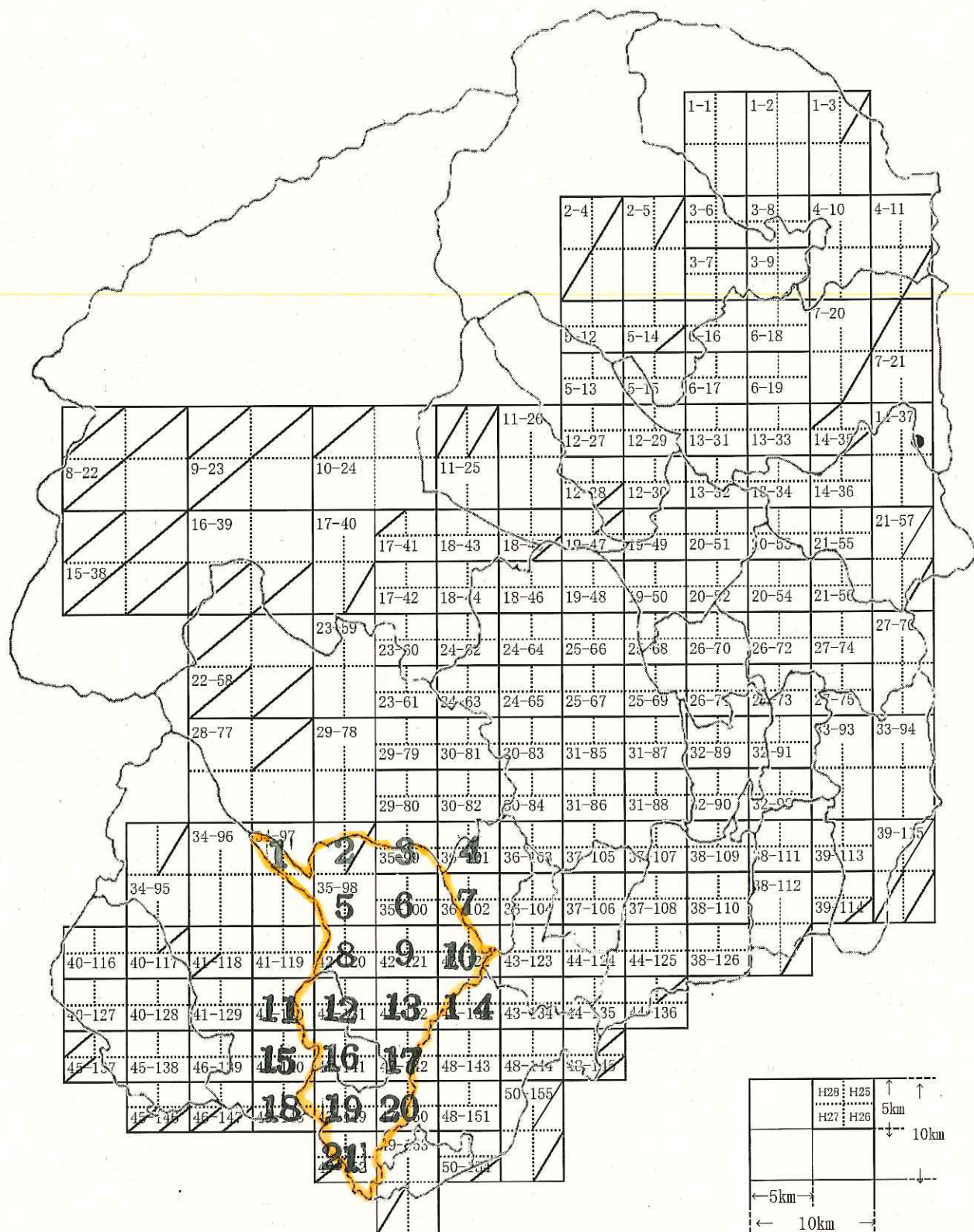


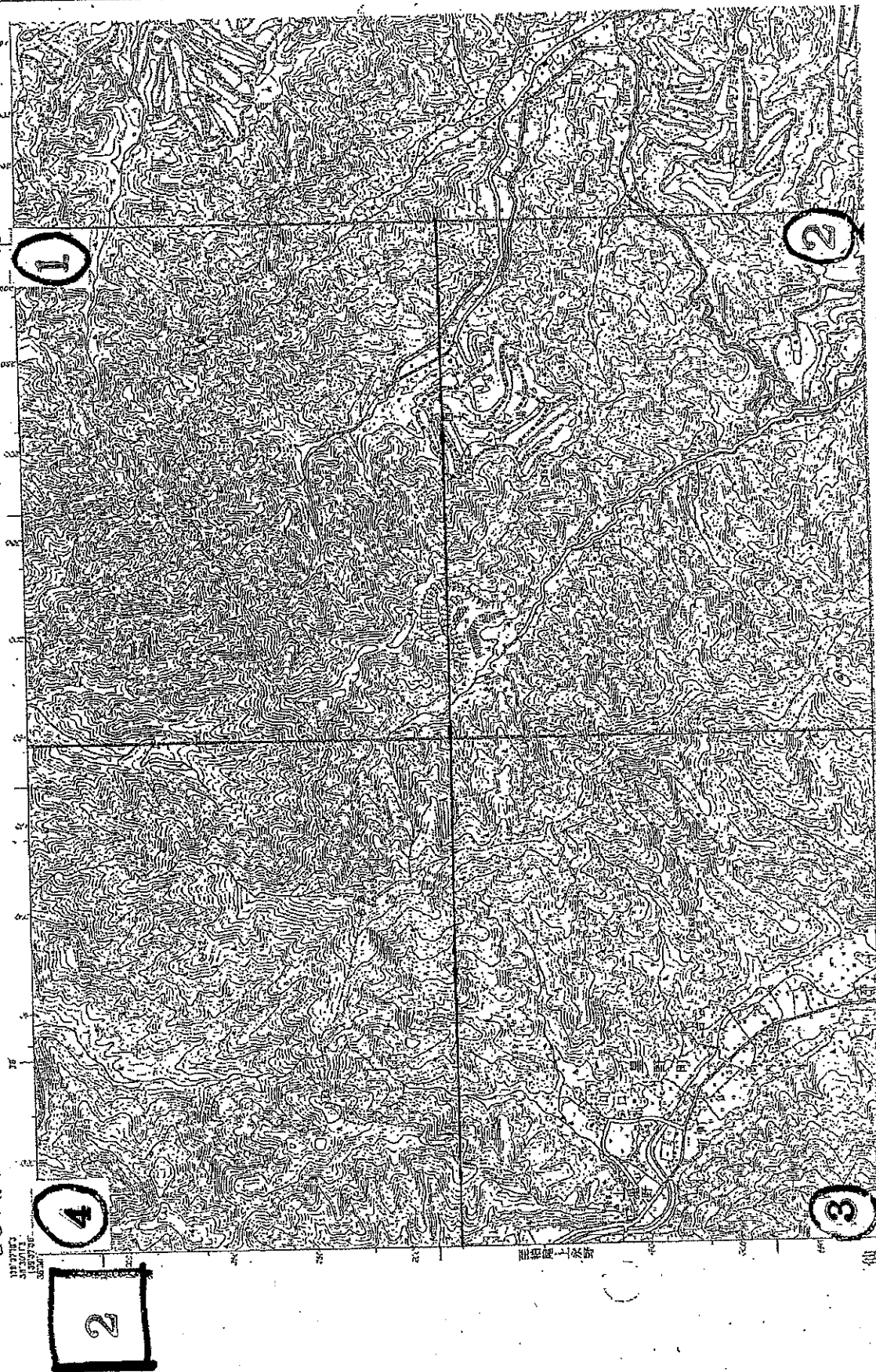
図3-1 地下水調査地点図（概況調査）



- (注) 1 県内を5kmメッシュに区切り、各メッシュをさらに4等分して4年ローテーションで調査している。
 2 大メッシュは10km、小メッシュは5kmで区切り、主に山間部では大メッシュ、市街地では小メッシュを用いている。
 3 地図上の数字はメッシュNo. (大メッシュNo. - 小メッシュNo.) を示す。
 4 ●は栃木県、○は宇都宮市の測定地点を示す。
 5 ○は国土交通省の測定地点を示す。
 6 ■はA+B項目を調査するメッシュを示す。 ■はA項目のみ調査するメッシュを示す。

下野大柿

1:25,000 地形図 NJ-54-30-6-1
しもつけおおがき (宇都宮6号-1)



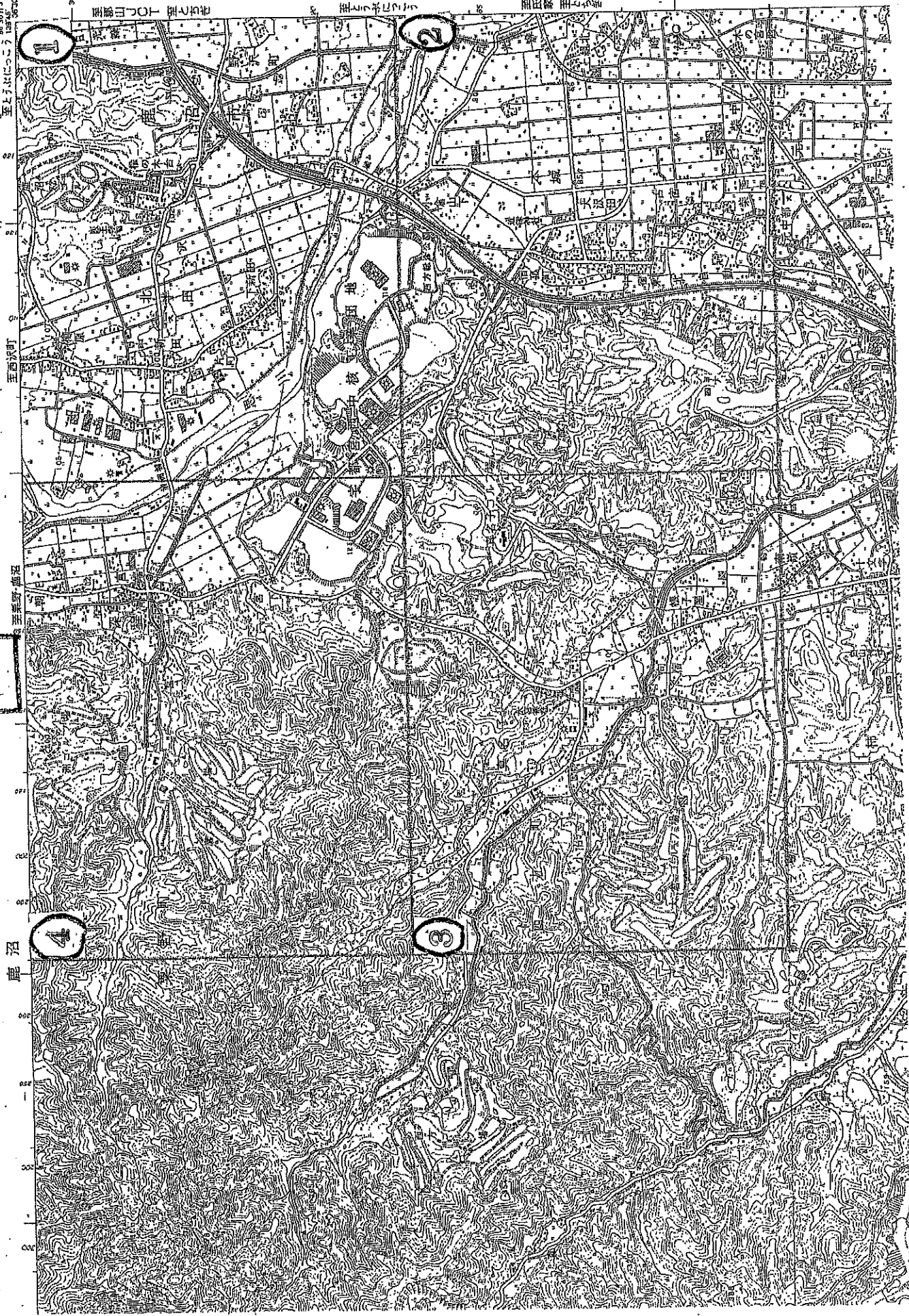
西にひきつりて

北にひきつりて

東にひきつりて

439-55

1854年2月
1854年2月
1854年2月



至西次町

至東次町

至西次町

至東次町

至西次町

至東次町

至西次町

至東次町

至西次町

至東次町

至西次町

至東次町

3

1 3 5 7 9

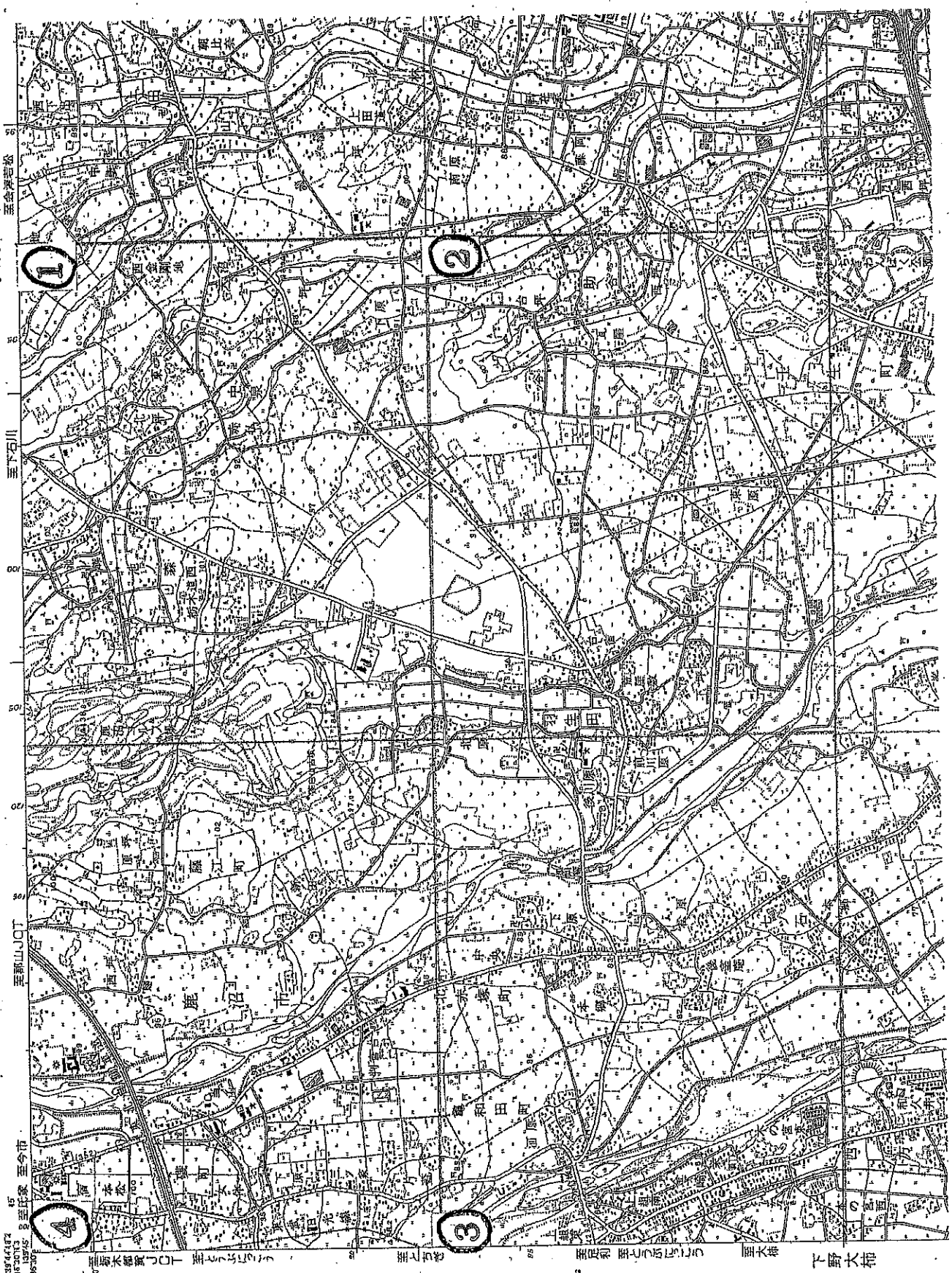
4

3

生 壬 宇都宮西部

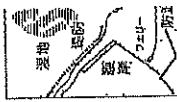
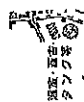
1:25,000 地形図 NJ-54-30-2-3
(宇都宮 2号-3)

みふ



4





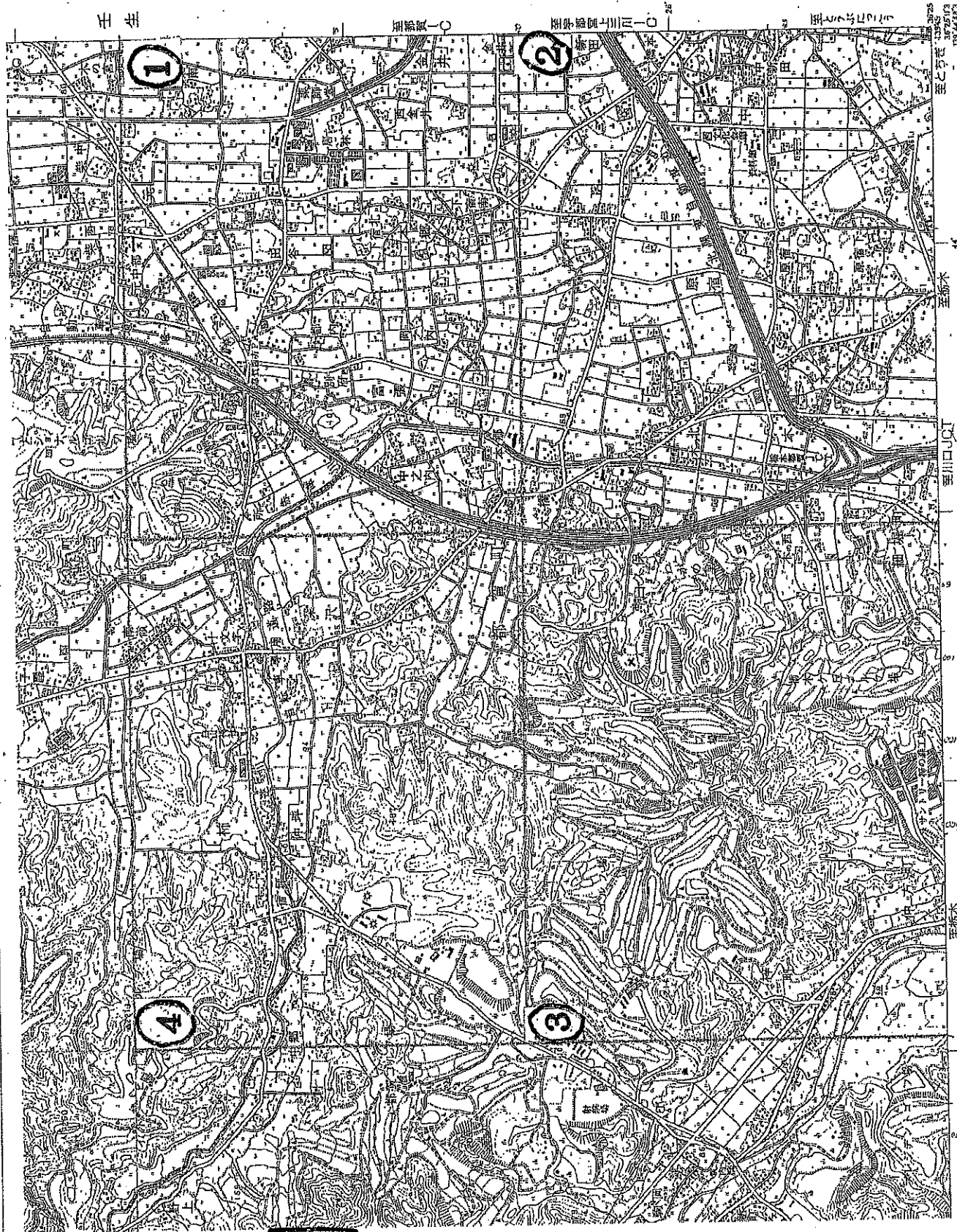
1. 我部は工に
2. 子午線は
3. 図解に付
4. 高さの差
5. 傾斜方向
6. 図式は部

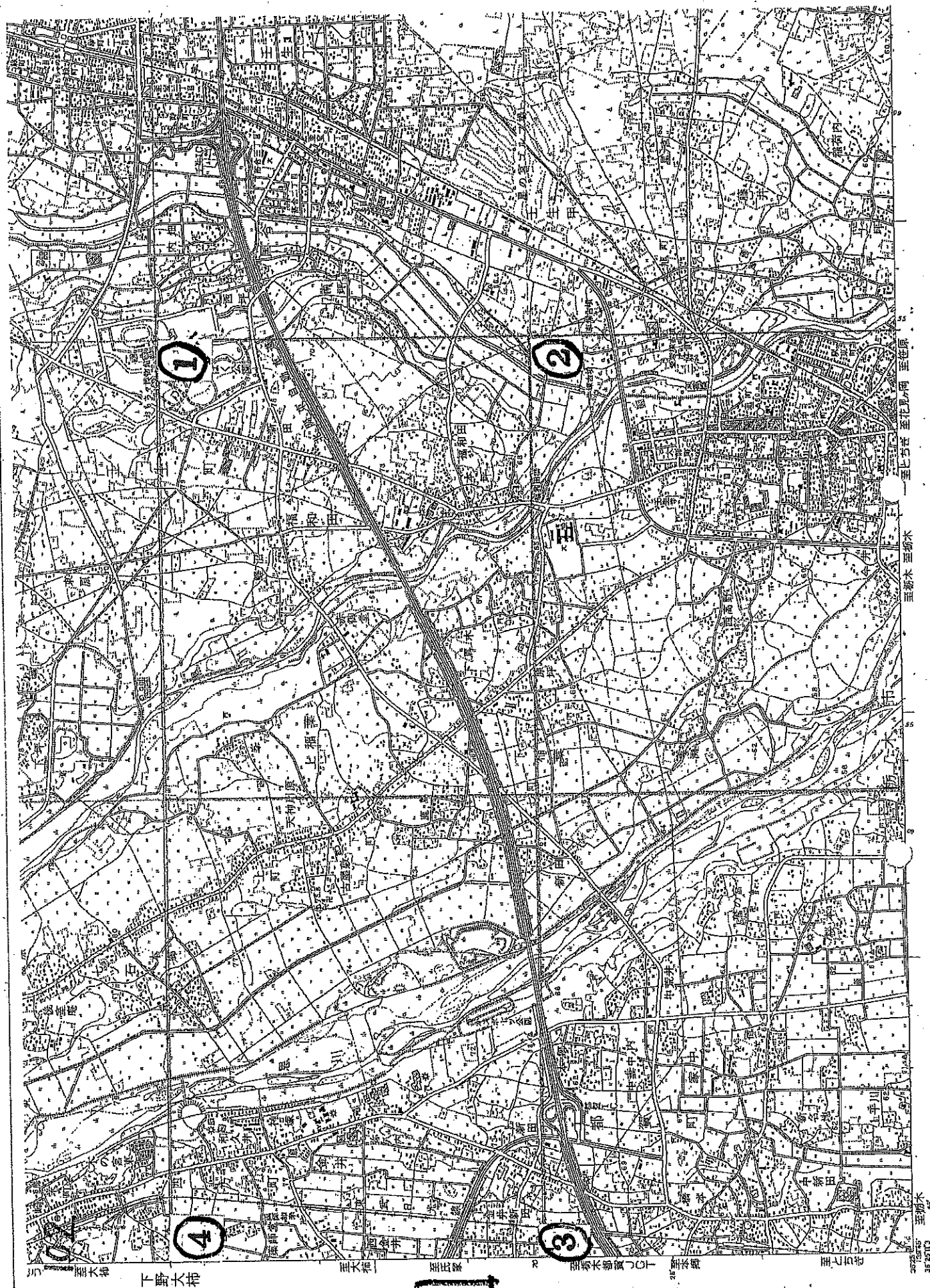


- 栃木県
- A. 栃木市
 - B. 上野原
 - C. 下都賀
 - D. 鹿沼市
 - E. 安部町

昭和14年測量
平成13年修訂
1. 使用し
2. 現地踏
茶色の地味色

製作場所省
平成15年1

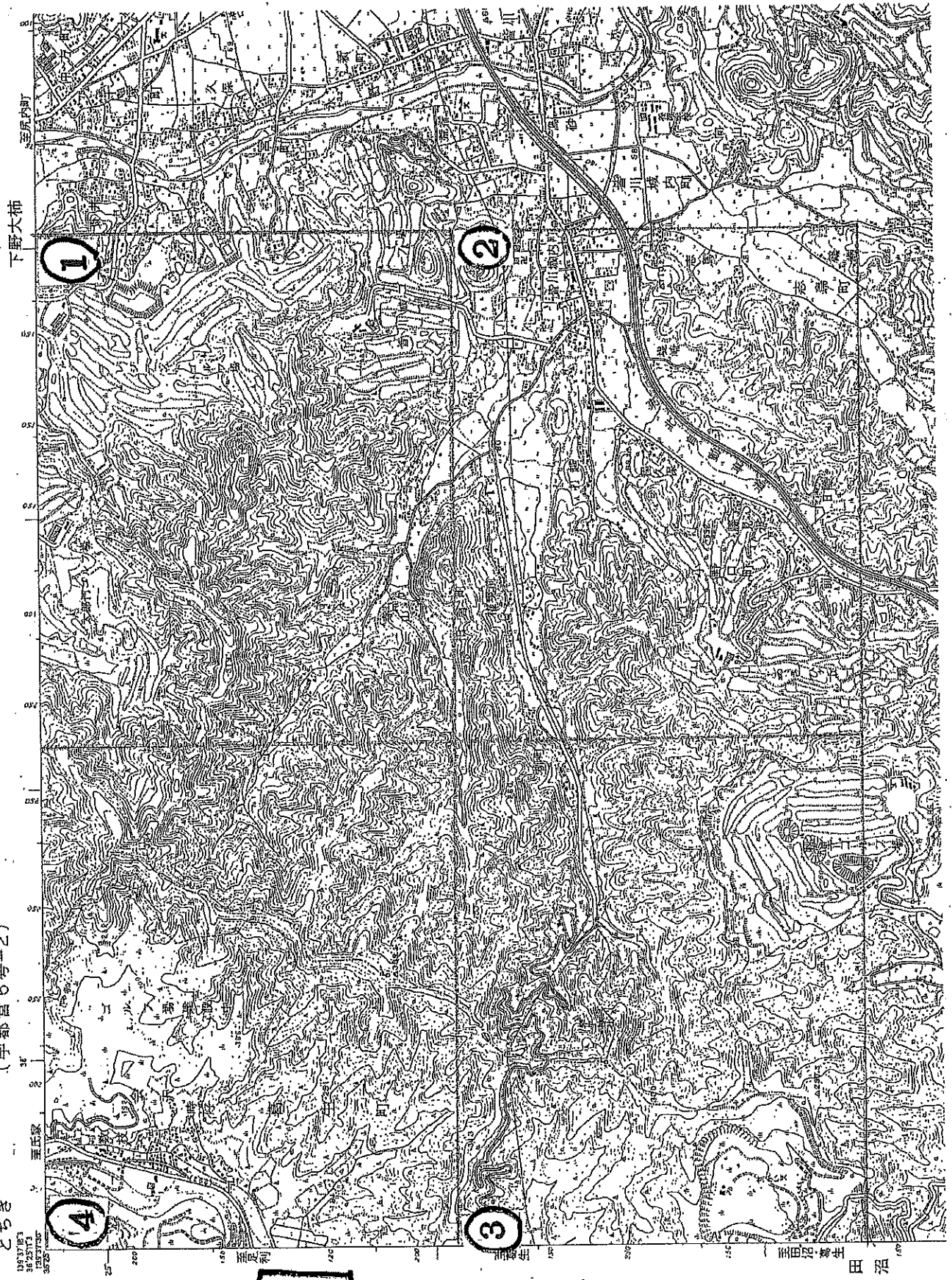




7

木 枋

1:25,000 地形図 NJ-54-30-6-2
とちぎ (中郡富6号-2)



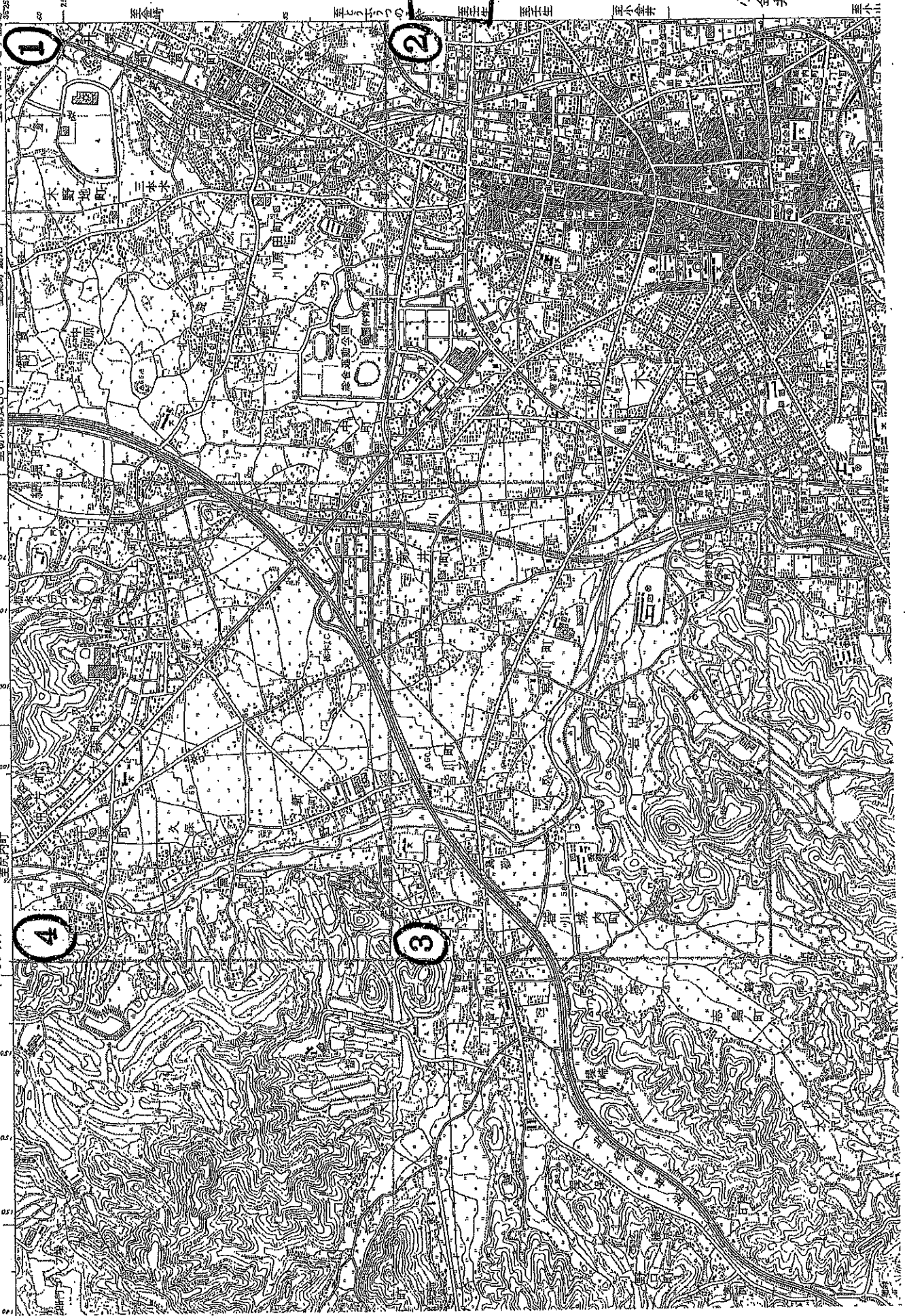
至とうろくこ
115.45
115.50

至栗野町
115.50
115.55

至新木製材JCT
115.55
115.60

至所内町
115.60
115.65

下野大柿
115.65
115.70



9

1

2

4

3

小金井

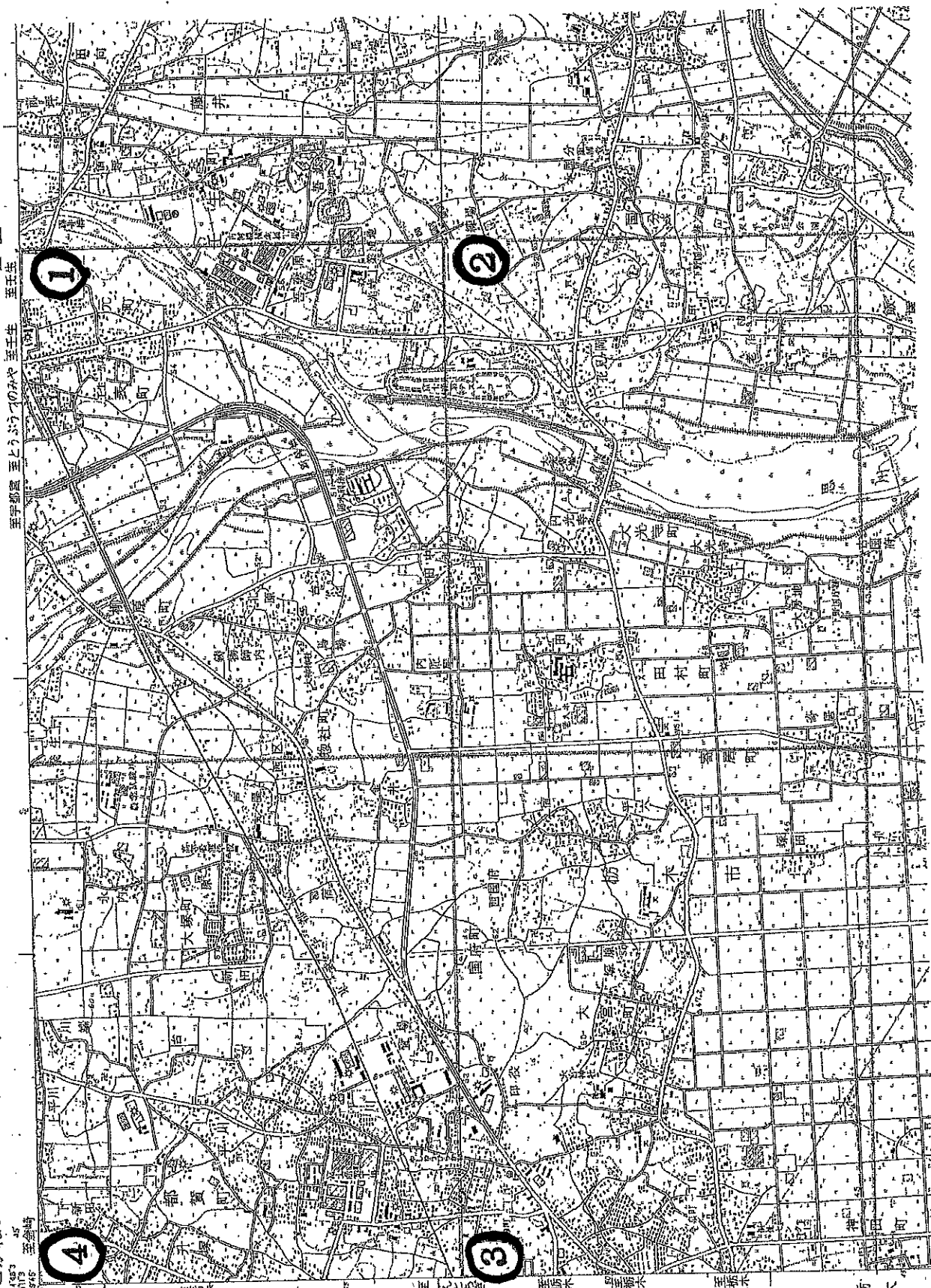
至小山

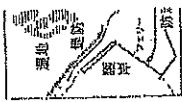
井 小 金

1:25,000 地形図 NJ-54-30-2-4
(宇都宮2号-4)

こがね

13741003
3533173
13745 至 宇都宮
3525





1. 投影は工
 2. 子午線は
 3. 右上の数
 4. 圓郭に付
 5. 度目盛と
 6. 高さの選
 7. 磁針方位
 8. 圖式は望
- 行

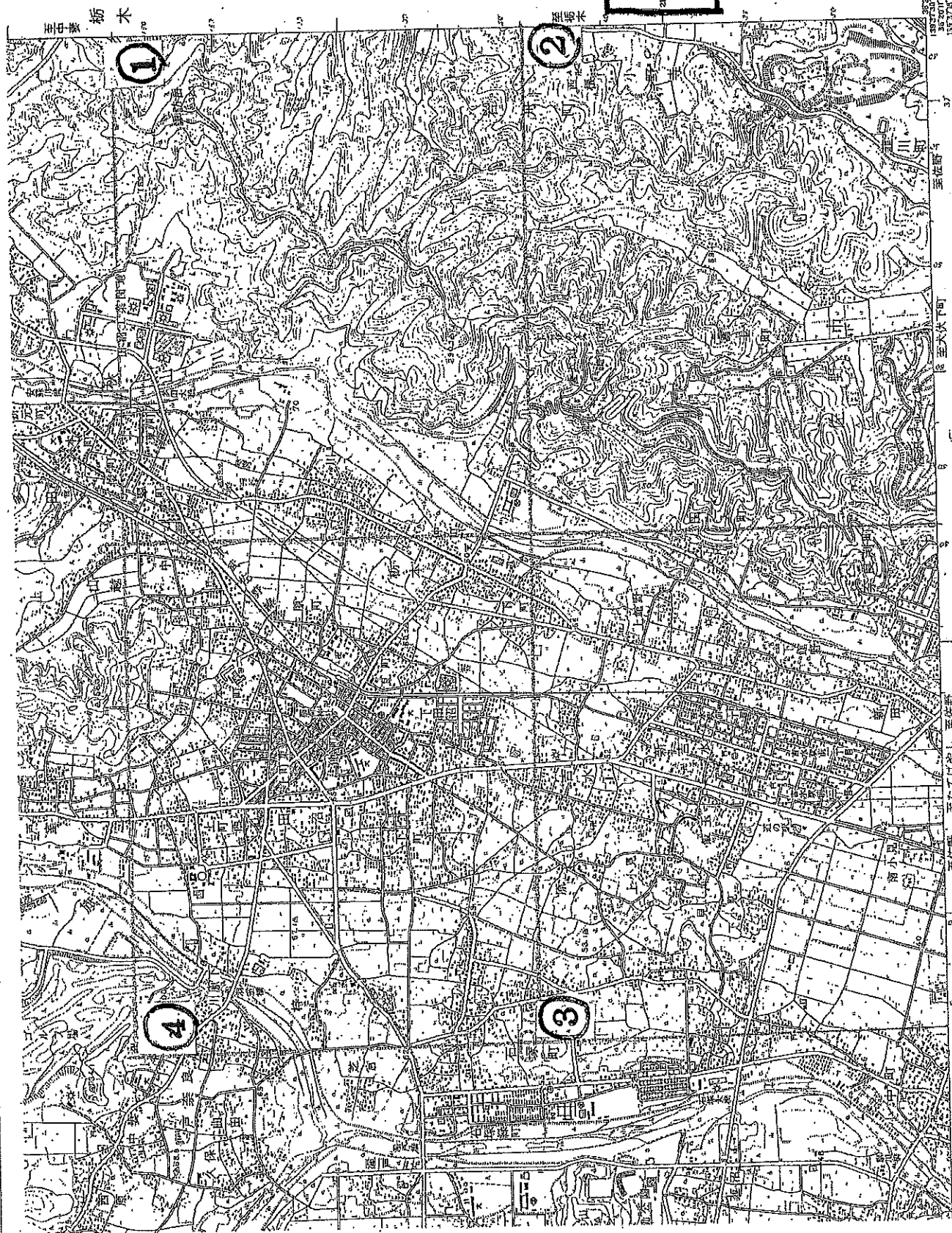


橋木早
A. 安孫子
B. 足利了
C. 佐野了
D. 下都了

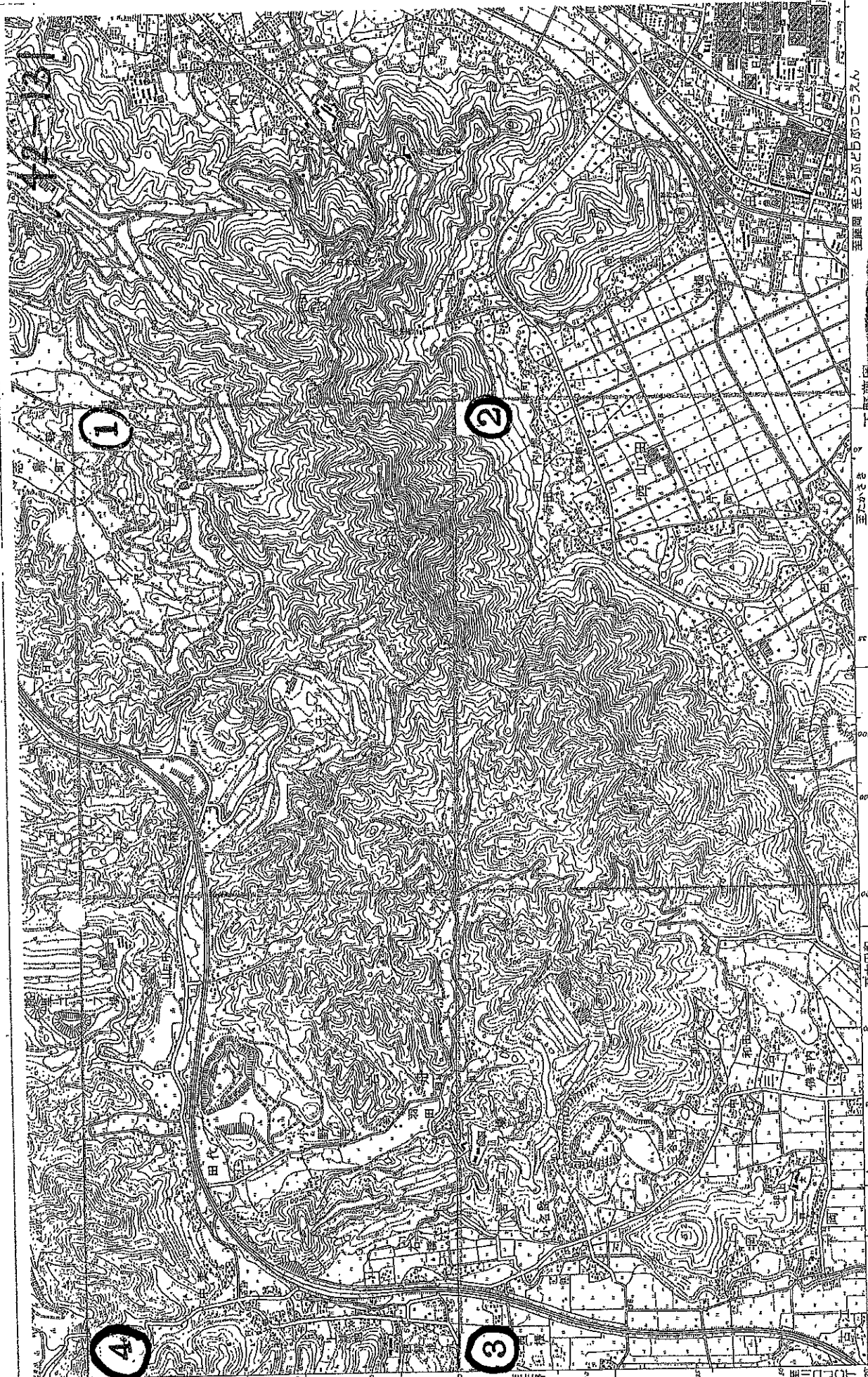


昭和33年制
昭和57年改
平成8年修
1. 使用し
2. 現地音
平成13年部
来色の経緯、

1.5m



王工利 佐 晴



12

至藤岡 至とらふとらふとらふ

下野藩

至とらふとらふ

15

100

100

100

至大田和

14

36

12

10

100

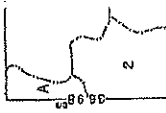
100

100

100



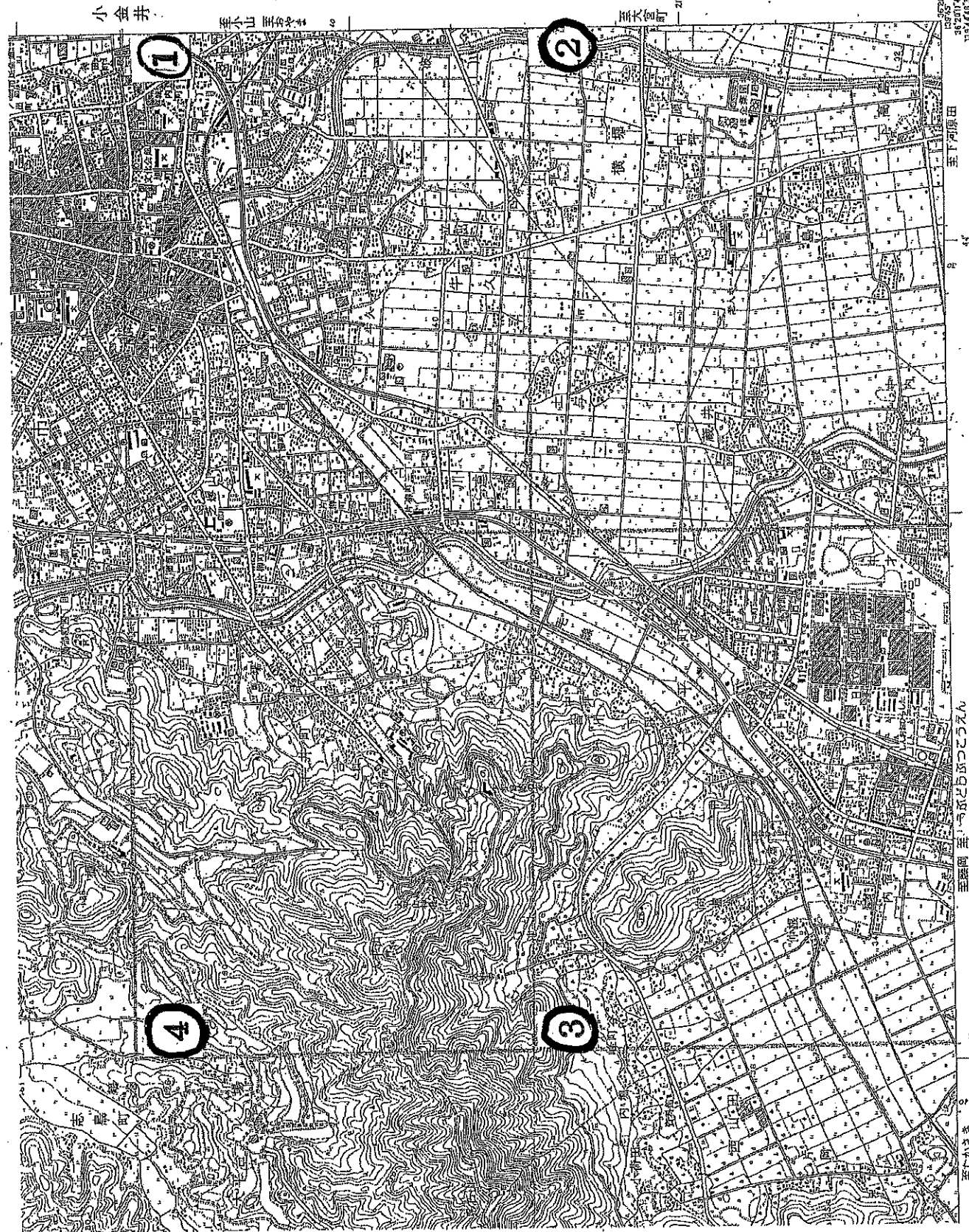
1. 地形は工二
子午線は多
2. 右上の部
3. 図解に付し
既述のと
4. 高さの差
5. 地形方位に
6. 図主は照
行:

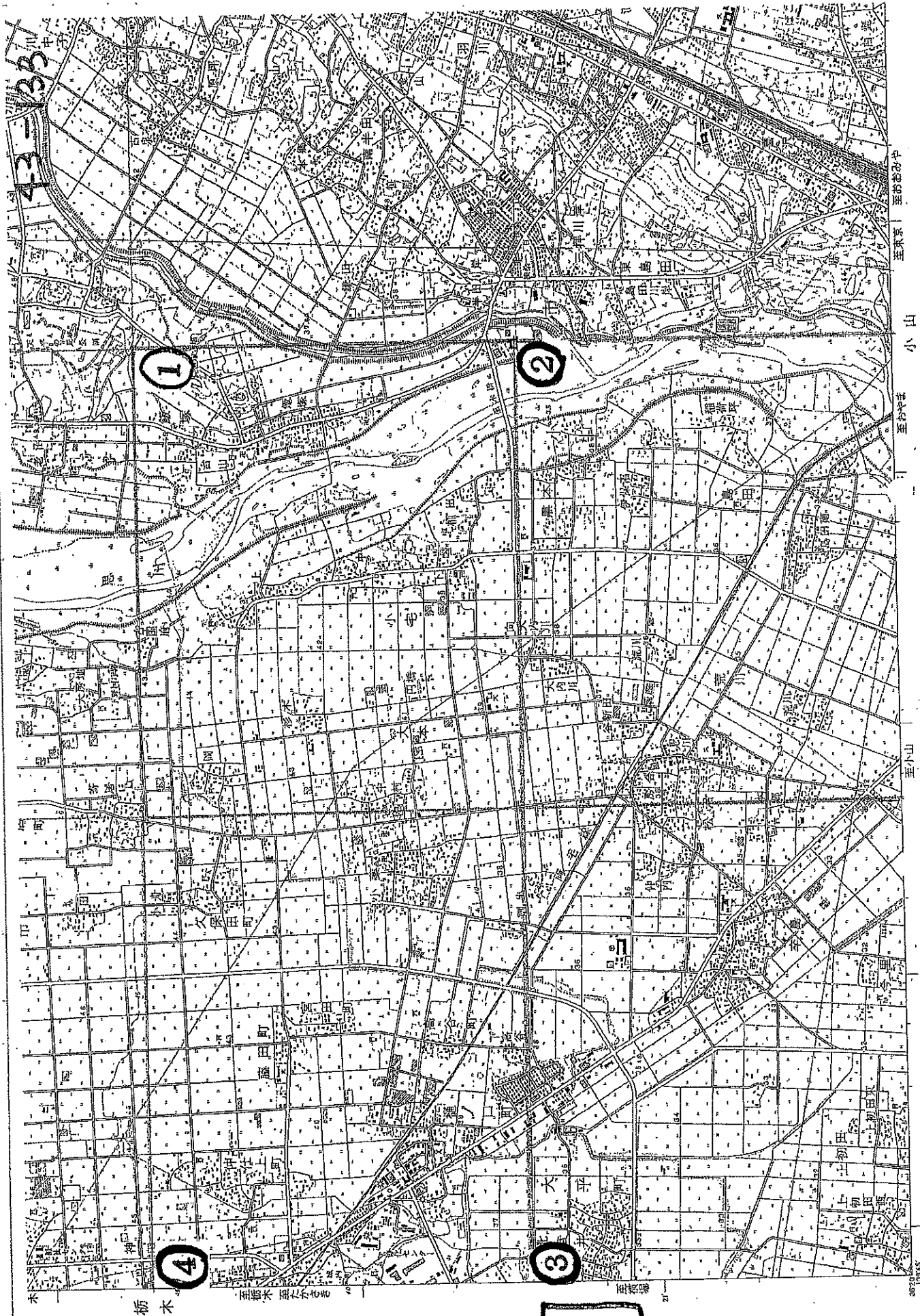


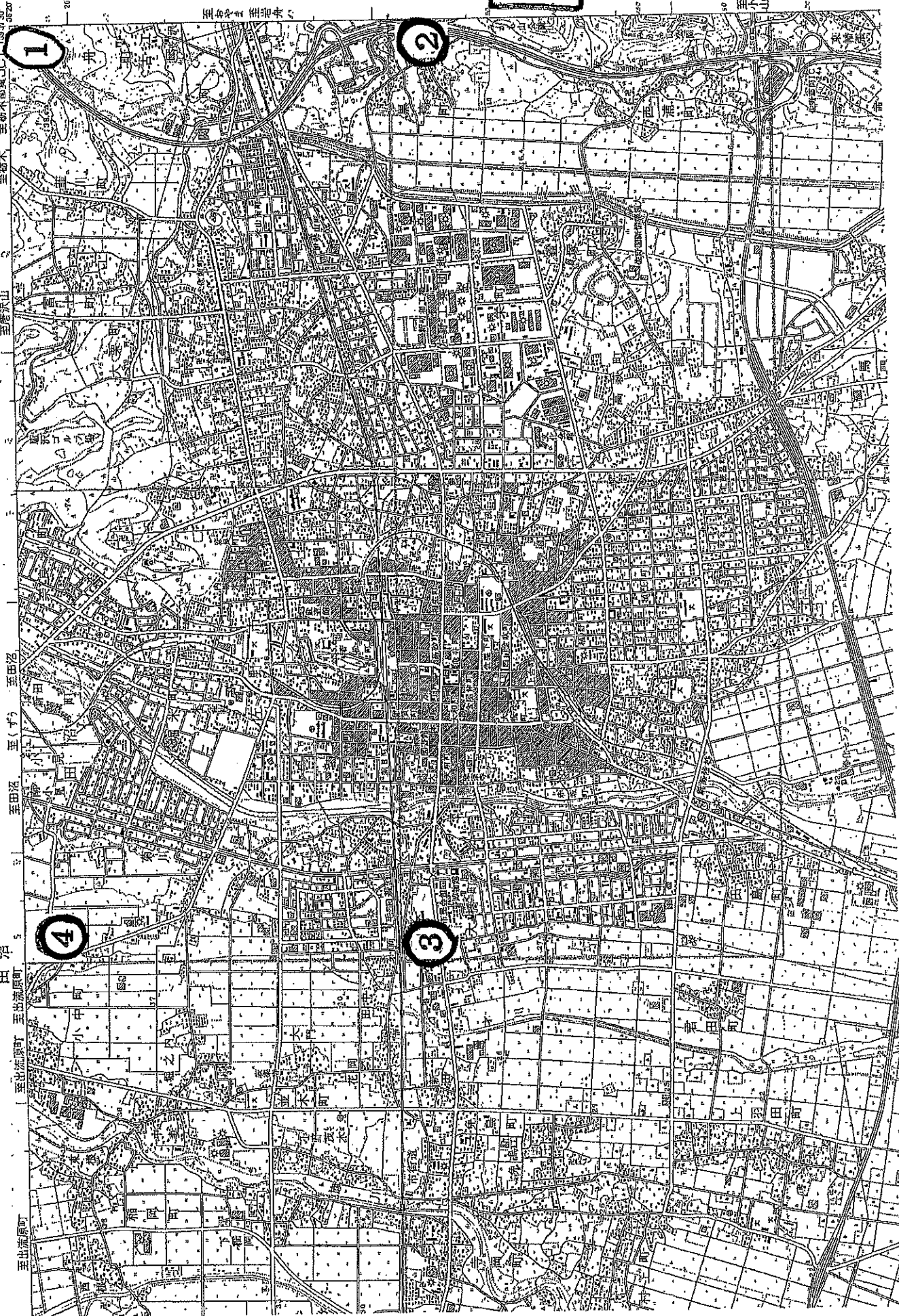
- 栃木県
A. 安藤郡
B. 栃木市
C. 下都賀
D. 小山市

大正4年測
昭和57年測
平成13年修訂
1. 使用し
2. 現地観
茶色の等高線

昭和4年測
昭和57年測
平成13年修訂
1. 使用し
2. 現地観
茶色の等高線

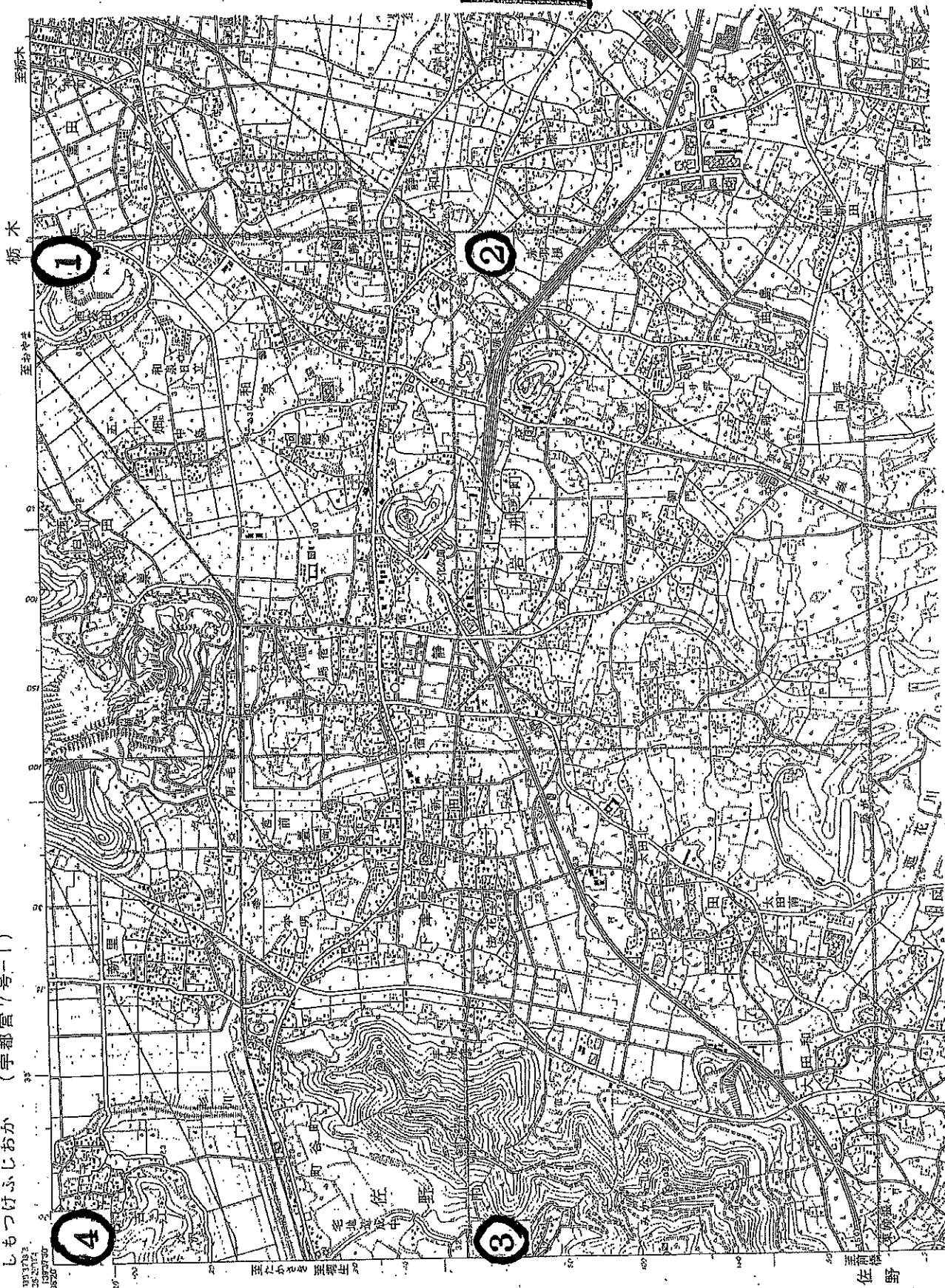






下野藤岡

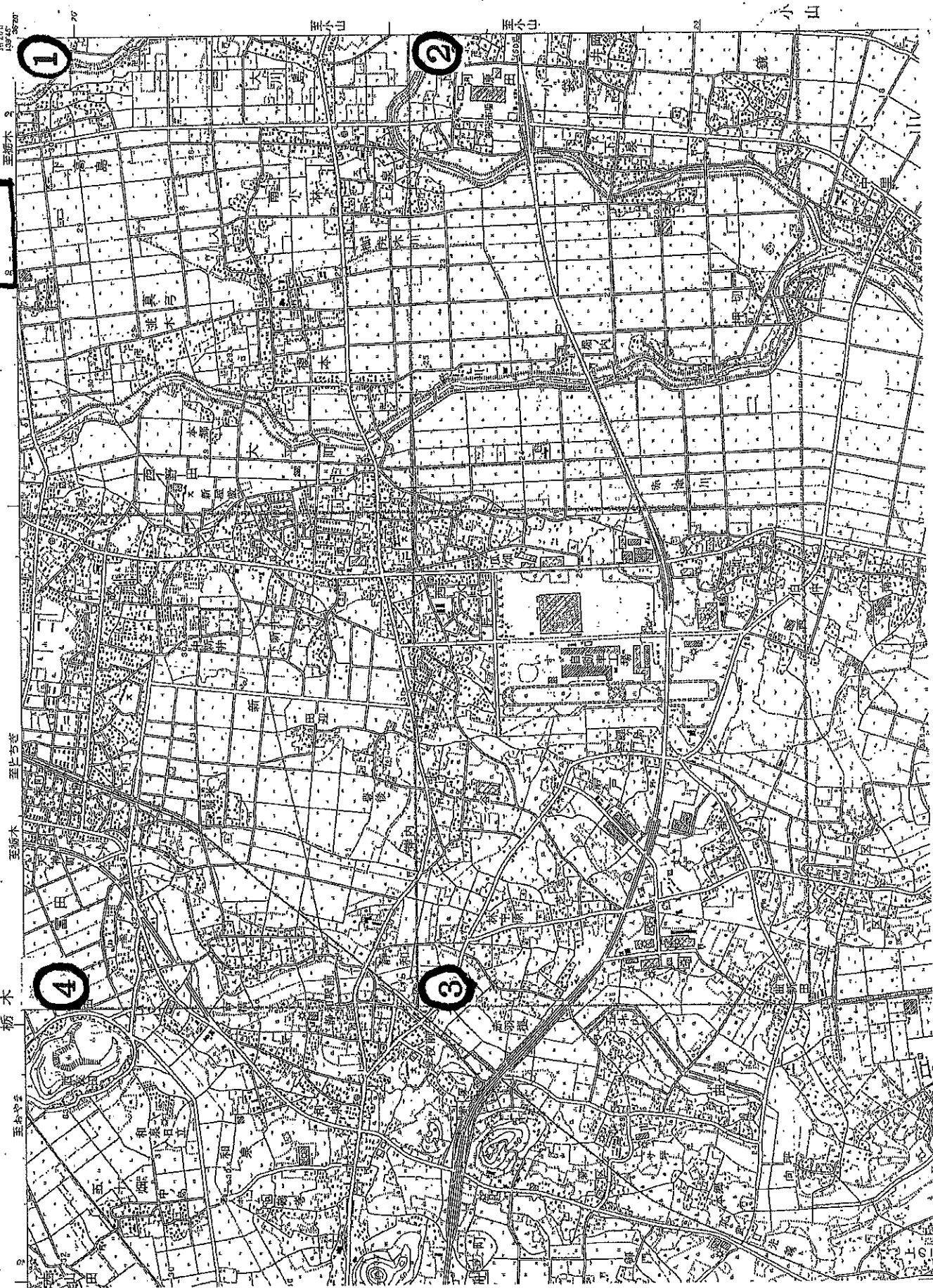
1:25,000 地形図 NJ-54-30-7-1
しもつけふじおか (宇都宮7号-1)



5439-35

17

至おやま 橋木

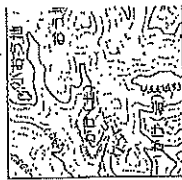
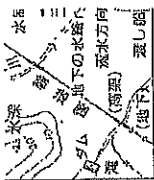


- 1. 至山
- 2. 至おやま
- 3. 至山
- 4. 至おやま

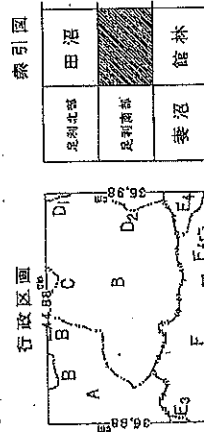
Legend and scale information:

- 1: 至山
- 2: 至おやま
- 3: 至山
- 4: 至おやま
- 5: 至山
- 6: 至おやま
- 7: 至山
- 8: 至おやま
- 9: 至山
- 10: 至おやま
- 11: 至山
- 12: 至おやま
- 13: 至山
- 14: 至おやま
- 15: 至山
- 16: 至おやま
- 17: 至山
- 18: 至おやま
- 19: 至山
- 20: 至おやま
- 21: 至山
- 22: 至おやま
- 23: 至山
- 24: 至おやま
- 25: 至山
- 26: 至おやま
- 27: 至山
- 28: 至おやま
- 29: 至山
- 30: 至おやま
- 31: 至山
- 32: 至おやま
- 33: 至山
- 34: 至おやま
- 35: 至山
- 36: 至おやま
- 37: 至山
- 38: 至おやま
- 39: 至山
- 40: 至おやま
- 41: 至山
- 42: 至おやま
- 43: 至山
- 44: 至おやま
- 45: 至山
- 46: 至おやま
- 47: 至山
- 48: 至おやま
- 49: 至山
- 50: 至おやま
- 51: 至山
- 52: 至おやま
- 53: 至山
- 54: 至おやま
- 55: 至山
- 56: 至おやま
- 57: 至山
- 58: 至おやま
- 59: 至山
- 60: 至おやま
- 61: 至山
- 62: 至おやま
- 63: 至山
- 64: 至おやま
- 65: 至山
- 66: 至おやま
- 67: 至山
- 68: 至おやま
- 69: 至山
- 70: 至おやま
- 71: 至山
- 72: 至おやま
- 73: 至山
- 74: 至おやま
- 75: 至山
- 76: 至おやま
- 77: 至山
- 78: 至おやま
- 79: 至山
- 80: 至おやま
- 81: 至山
- 82: 至おやま
- 83: 至山
- 84: 至おやま
- 85: 至山
- 86: 至おやま
- 87: 至山
- 88: 至おやま
- 89: 至山
- 90: 至おやま
- 91: 至山
- 92: 至おやま
- 93: 至山
- 94: 至おやま
- 95: 至山
- 96: 至おやま
- 97: 至山
- 98: 至おやま
- 99: 至山
- 100: 至おやま

1. 至山



1. 写真はユニバーサルメルカトル図法、座標は第54子午線は東経141°
2. 右の数字は地味メッシュコード
3. 図面に付した地味は最が経緯度差1分との目盛、管
4. 高さの基準は東京湾の平均海面、電電線の間隔は10メ
5. 地味方位は西偏約65°
6. 図式は昭和61年1:25,000地形図式



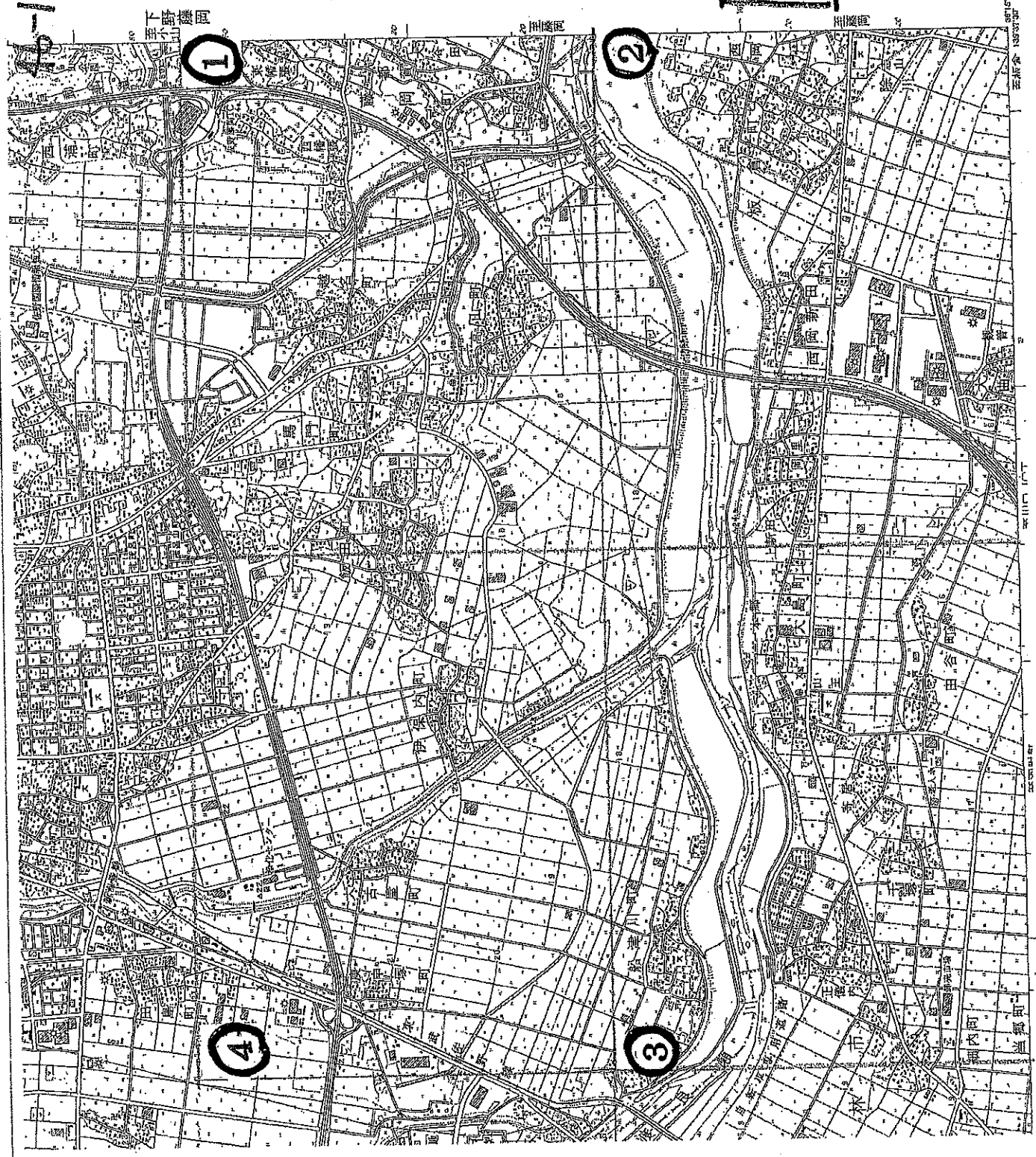
- 栃木県
- A. 足利市
 - B. 佐野市
 - C. 安芸郡
 - D. 下都賀郡
- 群馬県
- E. 邑楽郡
 - F. 板倉町
- 群馬県
- 1. 沼田町
 - 2. 沼田町
 - 3. 邑楽郡
 - 4. 板倉町

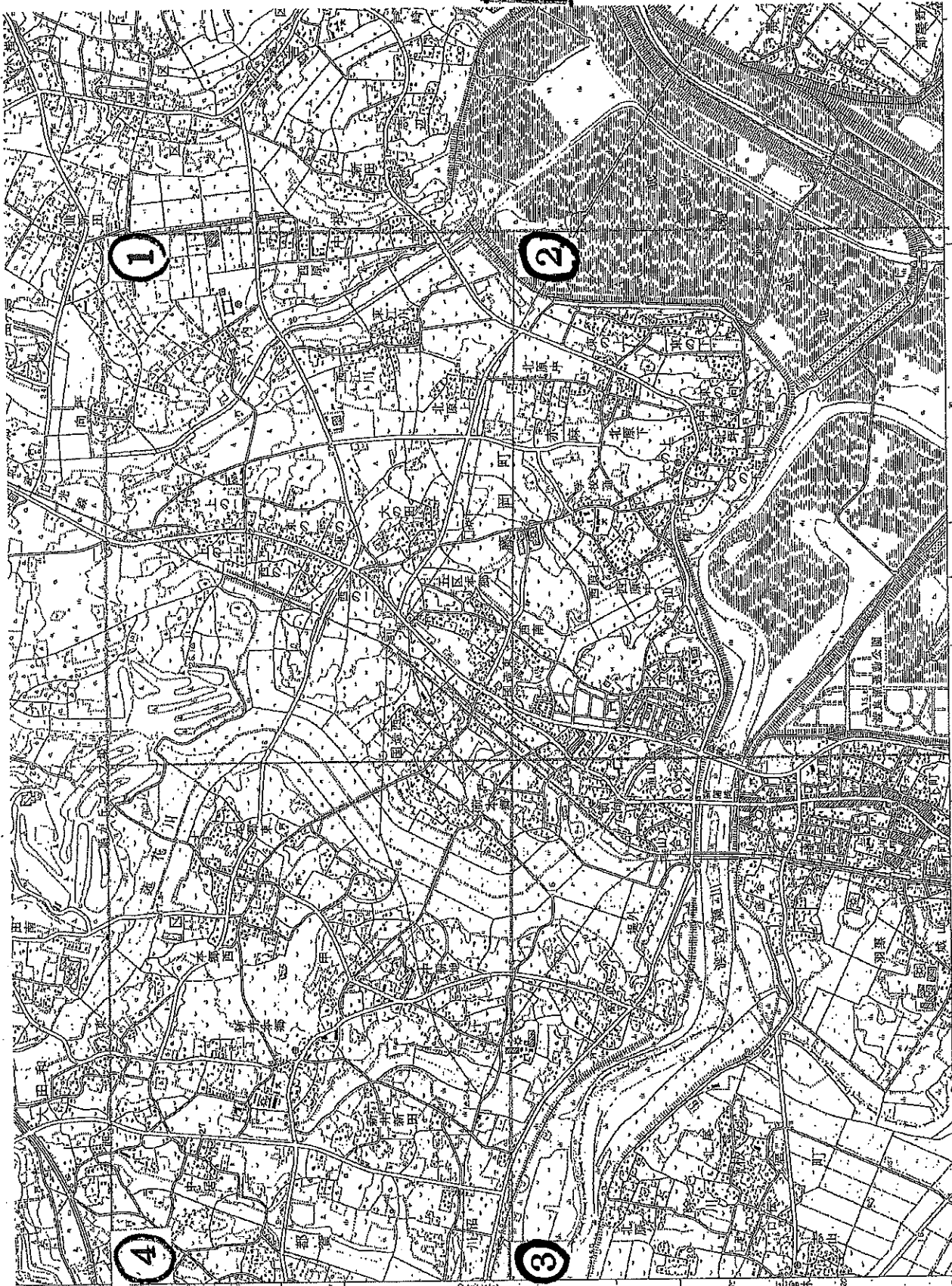
18

- 昭和33年測量
昭和57年改正
平成13年修正測量
1. 採用した空中写真は平成11年10月撮影
 2. 現地調査は平成13年5月実施
- 彩色の経緯度差は世界現地系(平成14年4月1日)から

1:25,000 佐野

著作権所有 国土地理院 許可なく複製





河

河

河

河

河

河

河

河

佐野

佐野

佐野

佐野



1. 投影はコニハ
子午線は東経

2. 右の数字は
3. 図解に付した
4. 高さの差は
5. 磁針方位は西
6. 図式は昭和

行政区



栃木県

A. 左野市

B. 下野市

C. 小山市

群馬県

D. 邑桑郡

E. 館林市

20

昭和38年測

昭和57年改測

平成13年修正測

1. 使用した空

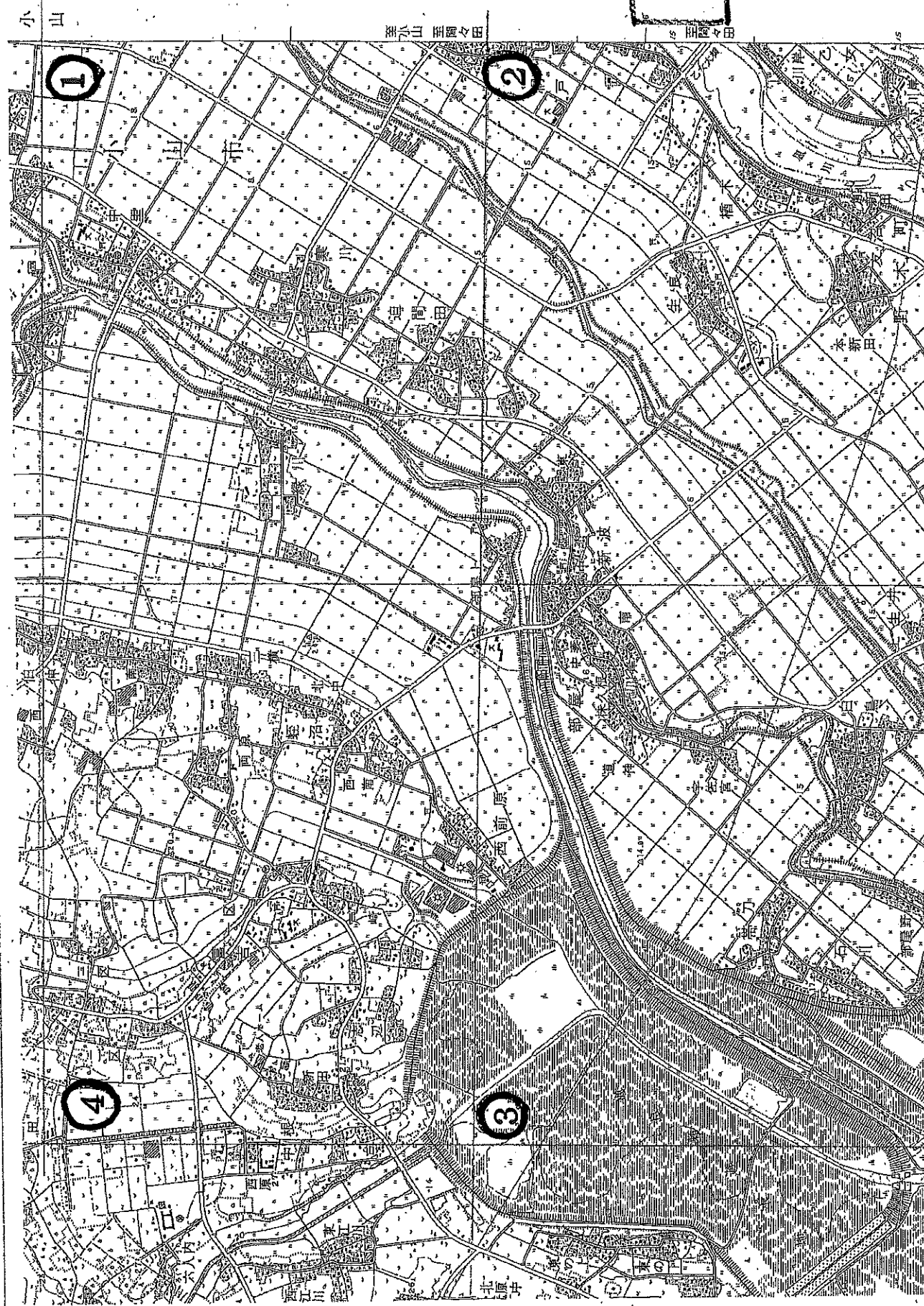
2. 地形調査は平

茶色の経緯度値に

1:2

著作権所有業行

平成14年9月1日



河 古

1:25,000 地形図 NJ-54-30-7-2
(宇都宮7号-2)

1031787
160173
12577-40
12577-40

至しんとろき 至栃木 至栃木

